

シックハウス(室内環境汚染)物質の測定

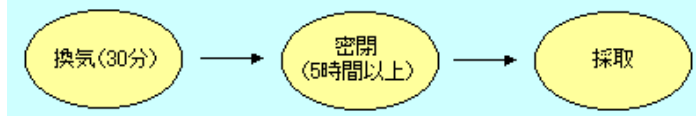
「シックハウス症候群」とは、住宅の高気密化や化学物質を放散する建材・内装材の使用により、新築・改築後の住宅やビルにおいて、化学物質による室内空気汚染が生じ、その結果、居住者等の様々な体調不良を引き起こされてきたものです。症状が多様で、症状発生の仕組みをはじめ、未解明な部分も多く、また様々な複合要因が考えられます。

測定対象としては、新築住宅や学校等の教育施設などがあげられます。

測定方法

測定項目	指針値 (μg/m ³)	測定方法
ホルムアルデヒド	100	DNPH-溶媒抽出-HPLC法
トルエン	260	固相吸着-溶媒抽出法-GC/MS法 固相吸着-加熱脱着法-GC/MS法 容器採取法-GC/MS法
キシレン	870	
エチルベンゼン	3800	
スチレン	220	
p-ジクロロベンゼン	240	
テトラデカン	330	
ノナナール	41	
クロルピリホス	1(小児:0.1)	固相吸着-溶媒抽出法-GC/MS法
ダイアジノン	0.29	
フタル酸ジ-n-ブチル	220	
フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	120	

指針値は、WHO欧州地域専門委員会・各種文献等により設定されたものである。



採取時刻は揮発性有機化合物濃度の日変動で最大になると予想される時間帯に設定することが望ましい(厚生労働省「室内空気汚染に係わるガイドライン」において提示された方法)。

シックハウス測定風景



学校の教室における測定風景



学校の体育館における測定風景

シックハウス測定に関する詳細につきましては、是非とも当事業所にお問合せ下さい。